



鳥取県立 倉吉総合看護専門学校

■ 助産学科 ■ 第1看護学科 ■ 第2看護学科



Kurayoshi General Nursing College Of Tottori Prefecture

学 校 紹 介



皆川幸久 校長

看護は胎児・新生児から高齢者まであらゆる年齢の方を対象としています。そして、その方々の生活背景もさまざまです。

看護専門職として対象に適切な援助を実践するために、専門知識はもとより対象を深く理解する心と技術の礎を築いていく初段階が学生時代です。

充実した学生生活を送れるよう職員一同で支援いたします。

■ 沿 革

- 昭和 6年12月 鳥取県知事から看護婦養成所の指定を受ける
- 昭和25年 4月 厚生大臣から乙種看護婦養成所の指定を受ける
- 昭和39年12月 鳥取県立倉吉高等看護学院として進学コースによる養成を開始する
- 昭和52年 4月 鳥取県立倉吉総合看護専門学校として、保健助産学科・第1看護学科・第2看護学科の3学科による養成を開始する
- 平成21年 4月 保健師課程を廃止し、助産学科を設置する
- 平成23年 4月 第1看護学科定員を25人から35人に増員する
本校舎横に実習棟を新築する

■ 課程、学科、定員及び修業年限

課 程	学 科		定 員		修業年限
			総定員	学年定員	
専門課程	看護学科	第1看護学科	105人	35人	3年
		第2看護学科	40人	20人	2年
	助産学科		16人	16人	1年

本校は助産学科、第1看護学科、第2看護学科の3学科により保健・医療・福祉の現場で活躍できる人材を養成する総合看護専門学校です。

教育理念

豊かな人間性と専門的な知識・技術を有する看護職を養成することを教育の目的とする。生涯にわたって自己研鑽に努め、県民の健康と福祉の向上に貢献できる看護職の養成を目指す。

助産学科

- 性と生殖の専門家として助産師の立場から命の尊厳を学習



小学生を対象とした「命の教育」の実践

- 研究的態度・視点を学習するための学会参加



「日本子ども虐待防止学会 第25回学術集会ひょうご大会」に参加

- 臨床指導者による学内演習



実習施設の指導者による分娩介助技術演習

- 地域に密着した実習



地域の妊婦さんや育児中の方への健康教育

教育目的

生命や人格を尊重し倫理に基づいた行動ができる能力の育成

保健医療チームで協働する看護実践能力の育成

自律した専門職として生涯自己の資質の向上に努める人材の育成

- 領域別実習



ケアの充実のために指導者を交えた実習カンファレンス

看護学科

- 高齢者の生活や価値観を理解する実習



老人福祉施設でレクリエーションを企画・運営

- 少人数を活かした授業展開



日常英会話の授業風景

- 気づかいや価値観を大切にした看護が実践できるためのOSCE(客観的臨床能力試験)の導入



OSCEでの援助実施場面

- 医療チーム活動の見学実習



入学早期より、チーム医療の重要性を学習

助産学科

看護の基礎知識の上に、さらに助産師としての実践能力を養います。

助産師はウイメンズヘルスの支援者です。周産期の母子と家族にとどまらず、思春期・更年期の女性や不妊相談等、女性のライフサイクル全般にわたり支援できる能力を習得します。

講義と実習の統合により、幅広い分野で活躍できる専門性の高い助産師を育成します。



実習前に医師から超音波断層装置を用いて、診断技術を学びます。8月からの実習に向け、知識と技術の習得に励んでいます。



妊娠期の演習では、模擬妊婦に沐浴指導を行いました。



地域で活躍されている助産師からいのちの教育の実際について学びました。



助産学科

山下結花さん

自身の出産を機に助産師を目指すようになりました。

学業と家事・育児の両立は大変ですが、専門領域を学べる喜びが大きく毎日が充実しています。年齢経験はさまざまですが、同じ目標を持った仲間と支え合いながら学んでいます。母子に寄り添い女性の一生を支えていける助産師になりたいです。



助産学科

林原明梨さん

さまざまな分野で活躍されている経験豊富な先生方の講義や演習を通し、地域で活躍できる助産師を目指し頑張っています。女性にとって大きなライフイベントである妊娠・出産を中心に女性とその家族への支援ができる助産師になりたいです。



令和4年3月 卒業

佐々木実結さん

塩見真衣さん

助産学科では、女性のライフサイクルに合わせた知識や技術を学ぶことができます。地域での実習も多くあり地域の人々と触れあう楽しさを学び地域のクリニックで働くことに決めました。学生の時に学んだことを活かして、充実した日々を送っています。

INFORMATION

◆定員／16名

◆修業年限／1年間

◆資格／

- 助産師国家試験受験資格
- 受胎調節実地指導員の認定申請資格
- 新生児蘇生法「専門」コース(Aコース)

【主な実習先】

- 県立病院・市町村・子育て総合支援センター・診療所・小学校など

【主な就職先】

- 県内の公立病院
大学病院・民間病院・診療所
- 県外の公立病院
大学病院・民間病院・診療所

■本校の教育内容

2022年度新カリキュラムです

教育内容		単位数
基礎助産学	性と生殖に焦点をあて、生涯を通じて対象を支援する助産に必要な基礎的能力を習得します。	7
助産診断・技術学	助産の実践に必要な基本的知識・技術・コミュニケーション能力の習得を図ります。	11
地域母子保健 助産管理	多職種と連携・協働しながら、地域における子育て世代を包括的に支援する方法を学習します。	5
臨地実習	病院・診療所・学校・市町等で、助産に関する理論と助産技術の統合を図ります。	11
合 計		34

本学科の教育課程は本校のホームページをご覧ください

第1看護学科

看護の専門職として必要な知識、技術、態度を学ぶことにより、看護を実践するための基礎的能力を養うとともに、人間尊重の理念に基づいた看護活動の展開ができる看護師を育成します。

【アドミッションポリシー（入学受入れの方針）】

1. 人に関心を持ち、人とのかわりを大切に、思いやりと倫理観をもつ人。
2. 他者の意見に耳を傾け、自分の考えを適切に表現できる人。
3. 看護を学ぶために必要とされる基礎的学力と学習習慣を身につけている人。
4. 基本的な生活習慣を身につけている人。
5. 自ら学ぶ姿勢をもつ人。
6. 看護職を目指す者として、専門的知識や技術の修得に意欲を示す人。



第1看護学科 2年生

大和文子さん

1年生の基礎看護学実習で初めて受け持った患者さんに、「いい看護師さんになれますよ。」と言っていただけたことがとても嬉しく、看護のやりがいを実感できました。患者さんに合った援助や声かけを考え実践することは難しかったですが、これまでの生活や疾患に合った個性のある看護ができるよう、日々の講義や自宅での学習を通してさらに学びを深めています。



第1看護学科 3年生

西村穂花さん

3年次には、領域別実習を通して、多様な場における看護の役割を学ぶとともに、1・2年次で学んだ知識や技術を活かし、根拠に基づく看護の実践を学んでいます。大変なこともあります。仲間と切磋琢磨し、実習指導者や先生方のご指導を受け充実した学校生活を送っています。



令和4年3月 卒業

鳥飼璃子さん

看護学校は、勉学や実習で毎日大変ですが、とても親身になって指導して下さる先生方のおかげで充実して学びを深めることができます。また、同じ目標に向かって切磋琢磨しあった仲間たちとの日々は、私にとってかけがえのない思い出です。私は現在実習していた病院で働いています。先輩方のサポートのもと、看護学校での経験や学びから見つけた自分の理想とする看護師像を実現させるため、日々頑張っています。

新1年生の集合写真



看護師としての知識や技術を身につけるために頑張ります！



臨地実習に向けて、基本的な技術を積み重ねていきます。

INFORMATION

◆定員／35名

◆修業年限／3年間

◆資格／

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師、助産師学校受験資格
- 養護教諭養成課程受験資格
- 大学編入学受験資格

【主な実習先】

- 病院
- 特別養護老人ホーム、児童福祉施設、訪問看護ステーション

【主な就職先】

- 県内の公立病院、大学病院、民間病院
- 県外の公立病院、大学病院、民間病院

【主な進学先】

- 本校助産学科、大学専攻科等

■本校の教育内容

2022年度より新カリキュラムです

教育内容		単位数
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活・社会の理解	15
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度	25
専門分野	基礎看護学 地域・在宅看護論 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 看護の統合と実践 実習 基礎看護学実習 地域・在宅看護論実習 成人老年看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 統合実習	69
合計		109

本学科の教育課程は本校のホームページをご覧ください

第2看護学科

准看護師資格をもとに、より専門的な知識・技術を身につけ、看護師の資格を取得するための教育課程です。

看護の専門職として必要な知識、技術、態度を養うとともに、人間尊重の理念に基づいた看護活動の展開ができる看護師を育成します。

准看護師の資格を取得した後、幅広い年齢層の仲間が、向上心に燃え、共に協力しあいながら看護師を目指しています。卒業生は県下の医療機関を中心に活躍しています。看護師資格を取得したいあなたの情熱を支援し、夢の実現に向けて応援します。



准看護師養成施設での学びを更に深め、看護師に必要な知識・技術の習得に取り組んでいます。



看護技術の講義では、実践に即した演習を積み重ねています。



第2看護学科 1年生

房安皓大さん

年齢、経歴の異なるクラスメイトですが、それぞれの知識を共有し、グループワークや学習に取り組んでいます。近年では、感染症をはじめとする医療への関心が一般の方にも高まってきています。そんな方々のニーズに応え、医療を提供できるように日々の学習に取り組んでいます。



第2看護学科 2年生

福富恵里さん

1年次に学んだ知識・技術とこれまでの経験を活かしながら、実習に臨んでいます。退院後に地域で生活していくために、必要な援助は何か考え、患者さんの思いに寄り添いながら看護を実践し、日々学びを深めています。実習と国家試験勉強の両立は大変ですが、同じ目標に向かう仲間と励ましあいながら充実した学校生活を送っています。



令和2年3月 卒業

松田奈々さん

2年間という学校生活の中で特に実習など大変なことも多いのですが、学校の学びは現在にとっても活かされていると感じます。臨床ではさまざまな方が対象となるので、改めて解剖学や生理学などの知識は大切だと、働き出してからより実感するようになりました。悩むことも多いですが、先輩方から多くのご指導を受け、支えていただきながら、やりがいをもって働いています。

INFORMATION

◆定員／20名

◆修業年限／2年間

◆資格／

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師、助産師学校受験資格
- 養護教諭養成課程受験資格
- 大学編入学受験資格

【主な実習先】

- 病院
- 訪問看護ステーション、児童福祉施設

【主な就職先】

- 県内の公立病院、民間病院
- 県外の公立病院、民間病院

■本校の教育内容

2023年度よりカリキュラム改正予定です

教育内容		単位数
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	9
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度	11
専門分野Ⅰ	基礎看護学	7
	臨床実習 基礎看護学	2
専門分野Ⅱ	成人看護学	3
	老年看護学	3
	小児看護学	3
	母性看護学	3
	精神看護学	3
	臨床実習 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学	2 2 2 2 2
統合分野	在宅看護論	3
	看護の統合と実践	5
	臨床実習 在宅看護論 看護の統合と実践	2 2
合計		71

本学科の教育課程は本校のホームページをご覧ください

学 校 生 活



オープンキャンパス

在校生や教員の指導により、モデル人形でモニター装着や聴診技術の体験をしています。



宣誓式

学生が看護をこころざすものとしてより深く学ぼうと決意を新たにするセレモニーです。



学校祭や交流会

学生が毎年趣向を凝らした運営を行い、クラス間・学生間の親睦が深まります。



クラブ活動

教科外では茶道の時間があり、これをきっかけに茶道部に入る学生もいます。クラブでは、七夕茶会、卒業茶会などに向けて、毎週、部員がお稽古をしています。

【入学時の必要経費】

(2022年度の経費であり変更になることもあります。)

- 入 学 料 5,550円
- 授 業 料 9,400円 (月額)
- 後援会費 9,400円 (年額)
- その他経費 学年ごとに納入していただきます。

【卒業までに必要な経費概算】 (単位: 円)

項 目	助産学科 (1年間)	第1看護学科 (3年間)	第2看護学科 (2年間)
テキスト代	130,000	210,000	170,000
教材費	100,000	35,000	15,000
国家試験関係費	60,000	75,000	65,000
研修費	80,000		
その他	10,000	13,000	17,000
合 計	380,000	333,000	267,000

※上記以外に

入学後、白衣・実習靴 (35,000円程度)、臨地実習のための交通費 (40,000円程度)、予防接種費用等は自己負担となります。

奨学金・修学資金貸付制度

- 日本学生支援機構奨学金
- 鳥取県看護職員修学資金

【施設概要】

●学生寮

- ▶ 寄宿舍「若葉寮」 定員61名
- ▶ 通学困難等の理由で、女性に限り入舎できます。
- ▶ 室料は無料ですが、光熱水費及び共通経費は個人負担となります。

注) 令和5年3月下旬から寮の外壁工事が開始されるため、令和5年度は入寮できない期間があります。

●校 舎

*敷地内は全面禁煙です。



あおいさん わかばさん

※鳥取県立倉吉総合看護専門学校のホームページもご覧ください。

■ アクセス



● 交通手段

- 【J R】鳥取▶倉吉／快速40分
米子▶倉吉／快速40分
倉吉駅からバス10分
厚生病院前下車、徒歩5分
厚生病院正面玄関前下車、徒歩3分
(パークスクエア線)
- 【飛行機】東京▶鳥取／約70分 1日5便
- 【特急バス】大阪(神戸)▶倉吉／4時間



鳥取県立倉吉総合看護専門学校

〒682-0805 鳥取県倉吉市南昭和町15番地
TEL (0858)22-1041 FAX (0858)23-5953